



朱雀の翼

新しい年を迎えて



新しい気持ちで、3学期の始業式を皆さんと一緒に迎えられることを嬉しく思います。

冬休みは、家族といつもより、長い時間過ごせましたか。好きなことや趣味に没頭したり、リフレッシュしたりできたでしょうか。

今回は、学校生活が始まってから、学校の生活リズムを取り戻すことが早かったように感じました。

この3学期は、学年の締めくくりの時期です。

みなさん1人1人が、これまでの努力を振り返り、4月からの新しい生活を好調にスタートできるように準備をする時期です。

3年生の進路決定に向けて全校で応援しましょう。3年生には、立派な態度で卒業していく姿を見せてくれることを期待しています。

義務教育最後の3年間、楽しいことばかりではなかったと思います。頑張ったこと、努力したこと、我慢したこと、たくさんあったことでしょう。

頑張りを続けると、格好いい3年生になれるといういいお手本となり、進学先が決まって希望に満ちて卒業していく姿に1、2年生が励まされます。

2年生は、4階での生活には慣れてきましたか。不便をかけますが、よろしくお祈りします。いよいよ

よ3年生のゼロ学期となります。新しい柳沢中の顔となる準備をしていきましょう。

1年生は、中学校生活には慣れてきたと思いますが、6年生が入学してくる前に先輩になる準備をしてください。先輩になるということは、偉くなるということではありません。どうすれば、「尊敬される先輩」になれるのか、個人でもクラスや学年でも考えて取り組んでみてください。柳沢中学校を支える中堅学年、柳沢中の大黒柱として期待しています。

学習面では、1、2年生は、3学期に今までの復習をしっかりとしてほしいと思っています。学力は、自分の努力次第でなんとでもなります。

12月に取り組んだ全校生徒の分の「Yagisawa サプリ」を見ましたが、しっかりと正しい答えを書いて、復習している人と×だけ書いている人で違いが出ているなと感じました。

勉強の努力は、気が進まない人が多いと思います。もっと頑張れたと後悔しないように「自分に負けない、小さな勝ち」をたくさん積んで、未来の自分をつくるために頑張ってください。

今の努力は、未来の自分をつくるのです。

なぜ、「努力」「挑戦」「前向き」が大切なのか。



それは、努力の積み重ねが、未来の自分をつくるからです。挑戦しないと、自分の本当の可能性に気づくことができません。そして、前向きな心をもてば、どんなにつらくても、新しい道が見えてきます。

1. 努力し続けることが、「未来の自分」をつくる

今の努力は、1年後、5年後、10年後の自分へのプレゼントです。そして、努力の積み重ねが「自信」を生み、次の挑戦への原動力になるのです

2. 挑戦することで、「自分の可能性」に気づくことができる

挑戦した時に、新しい自分に出会うことができます。そして、失敗は「成功への地図」になります。失敗した経験がある人ほど、失敗した原因がわかっているので、次に成功しやすくなります。

3. 前向きに生きることは、「新しい道」を開くことにつながる

つらい時やうまくいかない時に、後ろばかり見ていると、目の前にあるチャンスに気づけません。顔を上げて前を見れば、助けてくれる人が出てきたり、新しい可能性が見えたりします。

みなさんも、この3学期、そんな姿勢で一日一日を過ごしてみてください。



初めての宿泊行事

副校長 小西 貴也

吹き付ける冷たい風、体の芯から冷える寒さ。自然の厳しさを痛感し、心が折れそうになったスキー移動教室初日。思うように操作できないスキーに悪戦苦闘する場面も見られましたが、「マイナス発言なし」で初日乗り越えました。

2日目は、一転しての快晴。地元では「菅平ブルー」と呼んでいるそうです。澄み切った青空に恵まれ、スキー技術もどんどん上達しました。全ての班がリフトに乗り、全員が素晴らしい景色を見ることができました。まるで、初日に頑張ったからこそのご褒美のようでした。スキーを滑っているときの顔つきが初日とは全く違い、大きな変容に驚かされました。

3日目は、小雪が舞うこともありましたが、夜に降り続いた雪のおかげでパウダースノーを経験することもできました。

柳沢中学校に入学して初めての宿泊行事。時には我慢することも大事と前日に話をしましたが、3日間を通して5分前行動やマナーを守ってしっかり集団行動ができていました。スローガンにもあった、「助け合うこと、笑顔あふれる思い出」になったのではないのでしょうか。大人になっても語ることでできる思い出が、この1年生という集団でつくることのできたことは何よりも嬉しいことで、かけがえのないものです。

同時に、友達との仲が深まり、より理解することができた移動教室だったと思います。楽しかった思い出を胸にしまい、今後も助け合い、成長していきましょう。

保護者の皆様におかれましては、荷物の準備をはじめ、朝早くのお弁当の準備などご協力をいただき本当にありがとうございました。

その他の写真は、本校ホームページをご覧ください。



西東京市生徒作品展の様子
一月二十四日～二十六日



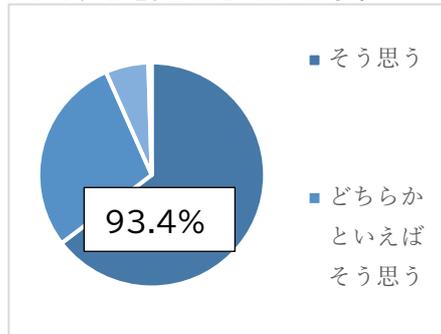
そんぽの家の皆さまと中央委員会の生徒

学校評価アンケートの回収率が90.5%となり、目標を大きく上回りました。お忙しい中、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

後日、集計結果をお示しいたしますので、しばらくお待ちください。

「設問1. 生徒は、楽しく学校に通っている」についての肯定的回答率が、昨年度より3.8ポイント上昇しました。実際の生徒たちは、89.1ポイントで、昨年より上昇はしたものの、9割を切っています。

学習や人間関係、将来や進路のことなど悩むことも多い中学生にとって、学校に行けば誰かしらと話ができて、居場所がある、魅力ある学校にしていきたいです。



温かな交流会



—「そんぽの家」の方からのお礼

生活指導主任 五十嵐 優

2学期末、ボランティア活動としてクリスマスカードと年賀状を作成し、地域の老人ホームにお持ちしました。この取組に対し、そんぽの家武蔵野の方が、「ぜひ直接お礼を伝えたい」と、中央委員会の際に来校されました。

来校された方は、来年でなんと100歳を迎えられるとのことでした。大先輩であるその方からは、柳沢中生に向けて「親孝行を大切に」「友達を大切に」という力強いメッセージを、格調ある漢詩のご紹介とともにいただきました。

「中学生の皆さんの前向きな姿勢に、私たちが元気をもらっています」と温かなエールをいただき、中央委員会のメンバーも、自分たちの活動が、誰かの喜びにつながっていることを肌で感じた様子でした。

世代を超えた心の交流は、私たちに「思いやる心」の大切さを改めて教えてくれました。

これからも交流を続け、地域と共に歩む中学校でありたいと思います。